

創造しよう 未来の香川

香川のよさについてまとめ、これからどのような香川県にしていきたいか、話し合ってみましょう。



庵治港

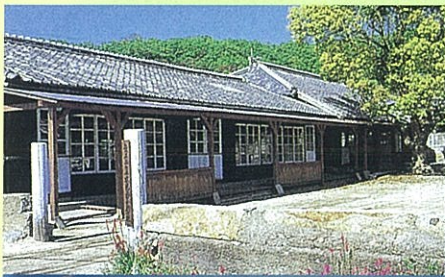
いやしの自然環境

映画は、見る人に感動を与えます。お話に引き込まれるだけでなく、スクリーンに映し出される風景も人々を映画の世界にさそいます。香川県には、人々の心を和ませる、すばらしい風景がたくさんあります。それらが映画になって、多くの人々に紹介されています。



©2004「世界の中心で、愛をさけぶ」制作委員会

「世界の中心で、愛をさけぶ」  
製作＝「世界の中心で、愛をさけぶ」制作委員会  
監督＝行定 勲  
配給＝東宝



映画の舞台となった小学校  
(丸亀市・本島)

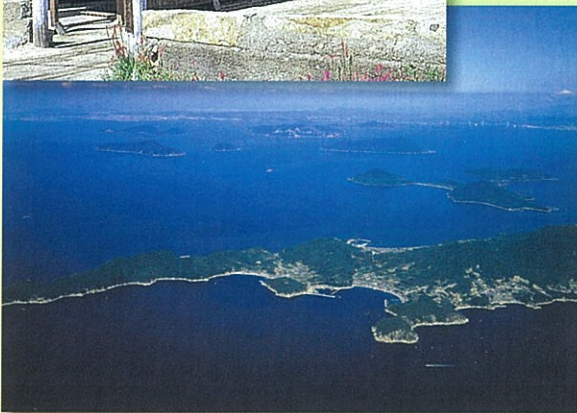


©2004「ロード88」制作委員会

「ロード88 出会い路、四国へ」  
製作＝「ロード88」制作委員会  
監督＝中村幻児  
配給＝ギャガ・コミュニケーションズ



おおくぼ 大窪寺



「機関車先生」

本島、志々島、粟島、高見島、  
庄内半島でロケが行われました

右のキャッチコピーと県名のロゴマークは、平成16年、香川県のよさを全国的にPRするために作られました。「かがやくけん、かがわけん」とは、「自然輝く、文化輝く、美味輝く、人輝く」香川県のよさを表しています。

また、「香川県」のロゴマークに入っている「赤」「青」「緑」はそれぞれ、「人間の情熱」「豊かな文化」「心のやすらぎ」を表し、みんなの力で、『個性輝く香川を創造していきましょう。』という願いが込められています。

かがやくけん、かがわけん。

香川県



ふるさとして なんだろう・・・  
 ふるさとのやさしさ ふるさとのぬくもり  
 心から落ちつく ふるさとの景色  
 だからこそ もっともっと 大切にしていきたい  
 ふるさと香川



### エコアイランドなおしまプラン

直島町では、21世紀を通して元気で明るい島であり続けるために、これまでの取り組みを生かして、新たな産業を生み出し、町をよくしようとしています。

現在、処理が課題となっている産業廃棄物について、新しいリサイクルの仕組みを作り出すための、環境産業を盛んにし、人々の働き場所を生み出すとともに、住民自らが自分たちの生活環境をよりよくするまちづくりを進めたり、多くの見学者を受け入れ、循環型社会のお手本となる地域を目指しています。



### 災害に強いまちづくりをめざして

災害の備えは、地震、火災、風水害などを経験して、はじめて気がつくことがあります。香川県では、平成17年7月に「香川県防災センター」をオープンし、映像や疑似体験などにより、よりリアルな災害体験を通して、防災に関する知識・技術を学び防災のための行動力を高めることを目標にしています。



県防災センターのイメージ図

### わたしの描くふるさとの未来

- ・豊かな自然と文化をいつまでも大切にしていきたいな。
- ・日本や世界にアピールできる香川のよさを発見したいな。
- ・ふるさとのために、わたしたちにできることを探していきたいな。



(かがわ国際会議場)